

アンチウイルス&スパムASPサービス 配信ルール機能を利用した SPAM判定メールの自動処理設定例

※エクセレントプランご利用の場合は、配信ルール機能を利用することにより SPAM 判定されたメールをサーバにて自動処理することが出来ます。サーバ側で処理することにより不要な SPAM メールを PC にて受信する手間を解消することも可能です。設定につきましては、各メールアドレス毎に行ってください。

(一括で行う場合は最終頁の「配信ルール一括設定」をご覧ください)

下記にて自動処理の設定方法および処理内容の例をご説明いたします。

1. WebMessaging (メール管理画面) にアクセスします。

「<https://mail.ドメイン名:8384>」にアクセスします。

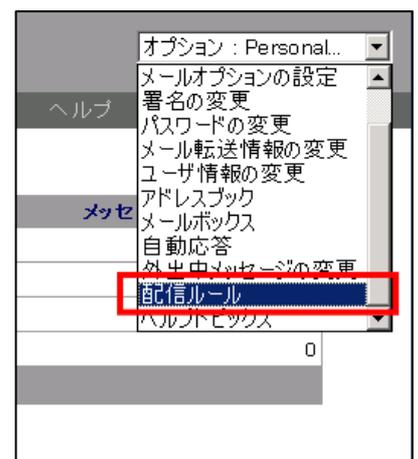
SSL 通信時、セキュリティ証明書の警告が表示されますが、「続行する」・「例外として扱う」等、ブラウザの規定の操作にて回避して頂くようお願い致します。

SSL 暗号化通信を使用されない場合は「<http://mail.ドメイン名:8383>」にアクセスします。

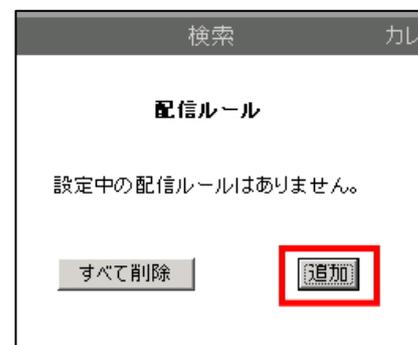
ユーザ ID に設定を行いたいメールアドレス、パスワードにメール受信の際のパスワードを入力して、ログインして下さい。



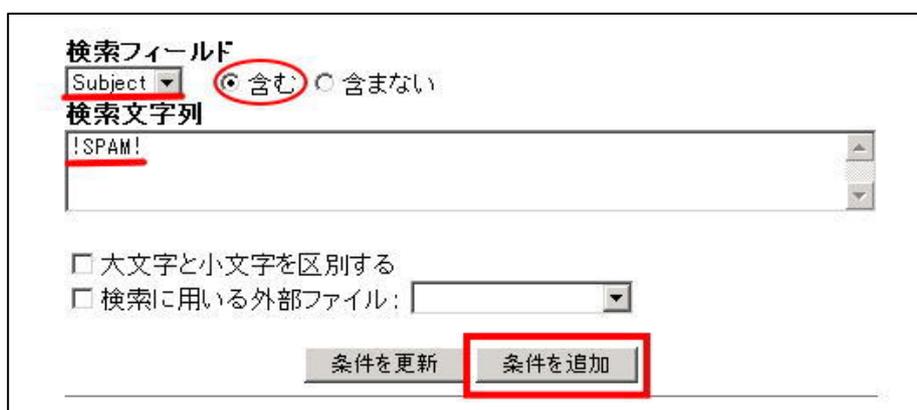
2. 画面右上のプルダウンメニューより、「配信ルール」を選択します。



3. 配信ルール設定画面にて、配信ルールの「追加」をクリックします。



4. 検索フィールドで「Subject」を選択
含む・含まないを「含む」を選択し、
検索文字列として **!SPAM!** を設定し、「条件を追加」をクリックします。



5. SPAM 判定されたメールの処理方法を指定します。

※ご希望される処理方法によって操作が異なります。

※スパムメールチェック機能で利用しているスパムメール定義ファイルは日々変化しておりますが 100% 正確に判定するものではありません。場合によってはお客様にとってスパムメールではないメールを、スパムメールと誤判定してしまう可能性があります。

SPAM 判定されたメールを自動処理される場合、処理方法毎にご案内しております処理されたメールの確認方法を用いて、目視による確認を行って頂いた上で削除等を行っていただくことを推奨しております。

(1)	任意のメールボックスに移動
(2)	任意のメールアドレスへ転送
(3)	送信元へ返却
(4)	削除 (※処理メールを目視確認ができない為非推奨)

(1) 任意のメールボックスに移動

SPAM 判定されたメールを、WebMessaging 上の任意のメールボックスに移動させます。

PC メールソフト上では、SPAM 判定されたメールが受信されなくなります。

(メールが届いた際、通常は「Inbox」というメールボックスに受信されます。

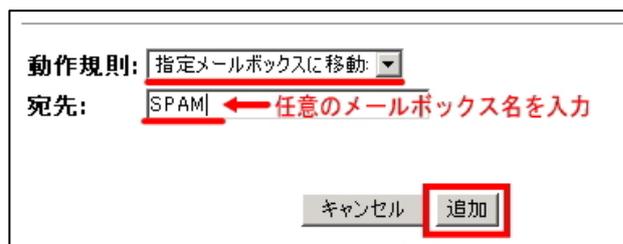
メールソフトでの受信の際は「Inbox」内のメールが受信対象となっております)

動作規則で「指定メールボックスに移動」を指定、宛先で「任意のメールボックス名」を入力し、「追加」をクリックする事で設定されます。SPAM 判定されたメールは、受信と同時に設定したメールボックスへ移動します。

(設定した名前前のメールボックスが存在する場合はそのメールボックスへ、存在しない場合は、新たにメールボックスが作成され、そこへ移動します)

移動したメールは、WebMessaging より、設定したメールボックスにてご確認頂けます。

(ご確認後にはメールを削除いただく事をお奨めいたします。削除しないと規定のディスク容量を浪費することになります)



(2) 任意のメールアドレスへ転送

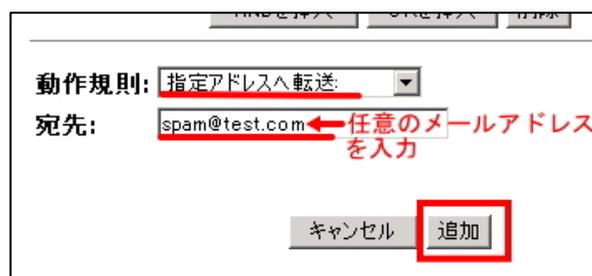
SPAM 判定されたメールを指定したメールアドレスに転送します。

転送を行うことで、設定を行ったメールアドレスには SPAM メールが届かなくなります。

SPAM メール確認用のメールアドレスを作成して頂き、そちらに転送して頂くなどの方法がございます。

動作規則で「指定アドレスへ移動」を指定、宛先で「任意のメールアドレス」を入力し、「追加」をクリックする事で設定されます。

(誤って存在しないメールアドレスを入力された場合、目視確認することが出来なくなってしまいますのでご注意ください)



SPAM 判定されたメールは受信と同時に転送処理され、設定したメールアドレスに届きます。転送されたメールは、設定したメールアドレス

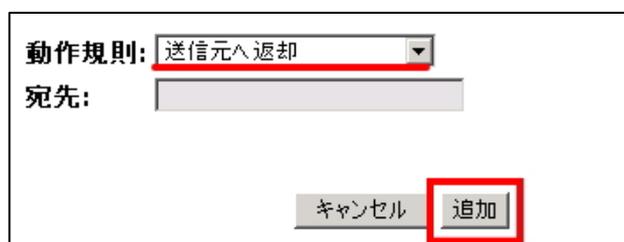
宛先	件名	日時
cat...	!SPAM! 激安商品販売中!	2009/08/04 21...
cat...	!SPAM! あなたの出会い応援します!	2009/08/04 21...
cat...	!SPAM! 裏情報満載・パチンコ必勝!	2009/08/04 21...

をメールソフトにて受信していただくか、転送先が弊社エクセレントプランの場合は WebMessaging にログインしてメールボックスをご覧いただく事で、ご確認頂けます。(ご確認後にはメールを削除いただく事をお奨めいたします。削除しないと規定のディスク容量を浪費することになります)

(3) 送信元へ返却

SPAM 判定されたメールについて、サーバ側で受信を拒否し、送信元メールアドレスにエラーメールを送信します。

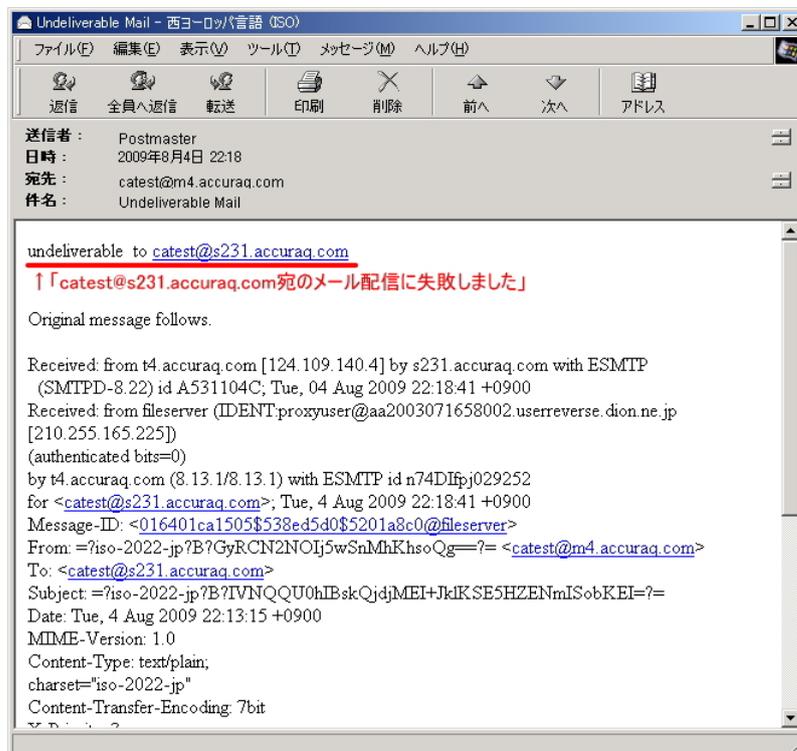
動作規則で「送信元へ返却」を指定し、「追加」をクリックする事で設定されます。



SPAM 判定されたメールをお客様側で確認していただく方法はありませんが、判定されたメールの「送信元メールアドレス」に、弊社サーバから送信に失敗した事を連絡する「Undeliverable Mail」という件名のエラーメールが送信されますので、メール送信者はメールが届かなかったことを知る事が出来ます。

(右画像はエラーメールのサンプルです。)

SPAM 判定されたメールの送信元「catest@m4.accuraq.com」宛に弊社サーバから送られた、『「catest@s231.accuraq.com」



宛のメール配信に失敗しました』という内容のエラーメールです)

※「送信元メールアドレス」が偽装されたメールの場合、本来の送信者ではない宛先にエラーメールが送られる可能性があります。

また、「送信元メールアドレス」が自分のメールアドレスに偽装されている場合は、上記のメールは自分に届きます。

(4) 削除

※この設定はお奨め出来ません。スパムチェック機能はスパムを 100%正確に判定するものではなく、場合によってはお客様にとってスパムメールではないメールをスパムメールと誤判定してしまう可能性がある為です。重要なメールの消失等が発生した場合でも、復旧等の対応は不可能ですので御注意下さい。

SPAM 判定されたメールについて、サーバ側で自動削除を行います。

動作規則で「削除」を指定し、「追加」をクリックする事で設定されます。

The screenshot shows a configuration window with a dropdown menu for '動作規則' (Action Rule) set to '削除' (Delete). Below it is a '宛先' (Destination) field. At the bottom, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '追加' (Add), with the '追加' button highlighted by a red rectangular box.

サーバから完全に削除されますので、SPAM 判定されたメールの内容を後からご確認頂く事は出来ません。また、どんなメールが削除されたのかを確認する方法もございません。

■参考情報：ホスト（ドメイン）単位での配信ルール一括設定につきまして■

ご利用ホスト（ドメイン）の全てのメールアドレスに、一括で自動処理設定（配信ルール設定）を希望される場合、オプション機能としてご提供しております

「メール配信ルール設定（ホスト）」をご利用頂くことで可能となります。

<http://www.accuraq.com/security.htm>

詳しくは (support@accuraq.com) までお問合せ下さい。

◇メール配信ルール設定は用途に応じて様々な利用方法があります。その 1 例として、ユーザー全員の送受信メールをコピー転送させることも可能です。(右図) メールの運用監視、トラブルが発生した際の調査等、セキュリティ対策としてご利用いただけます。

